

平成20年6月10日

総務省統計局

税務データ行政記録の活用について（活用が想定されるもの）
（経済センサス関係）

活用が想定される項目

事業所の名称、所在地、電話番号

開業日、廃業日

事業の種類、産業分類

従業者数

売上高（営業収入）、経費、営業収益等の経理項目

期待される効果

経済センサスでは、事業所母集団情報の整備を目的としており、商業・法人登記情報を活用して名簿情報の補完を行うこととしているが、登記情報で把握できるのは法人事業所の登記上の名称、所在地の情報だけとなっている。税務情報により個人経営の事業所に関する情報や、法人についても実在の所在地情報を利用することが可能となれば、より精緻な事業所母集団情報を整備することが可能となる。

また、経済センサスでは、全国の事業所の売上高、経費等の経理状況を把握し、国民経済計算の精度向上等に資することも目的としているが、これら情報の多くは税務情報として国あるいは都道府県が保有している情報であるため、これを利用することが可能となれば、結果精度の向上に資する可能性がある。